

異種女肉便器

卵床奴隸



私たちは
戦いに負けた

衣服を
ひきむしられ

頭に自爆虫を
埋め込まれた

この虫は
死ぬとき
卵を一つ
産むのだという

その時に
卵管が爆ぜるので
頭に埋め込まれた
私たちも
一緒に死ぬ

奴らが
奴隷を言いなりに
するために
使う常套手段だ

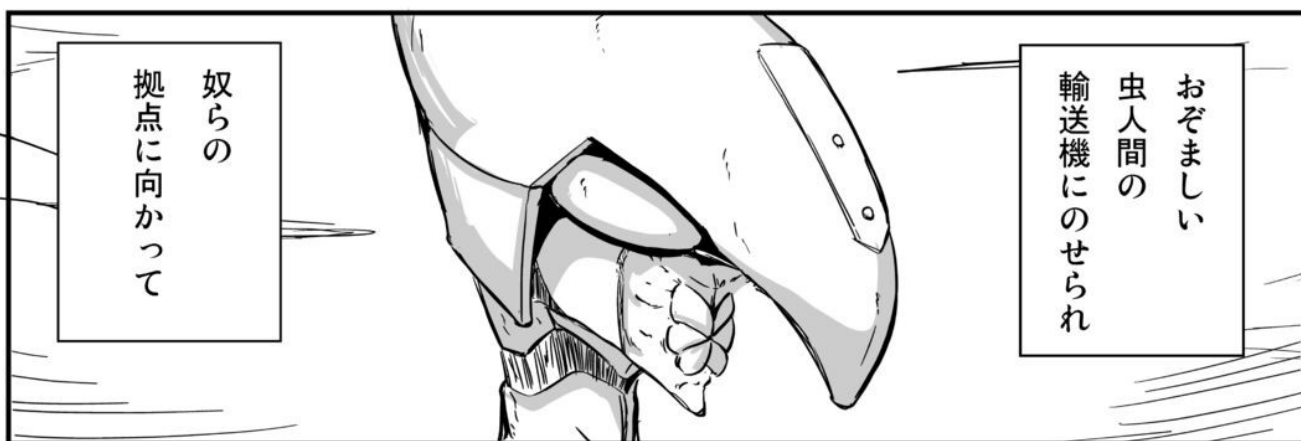
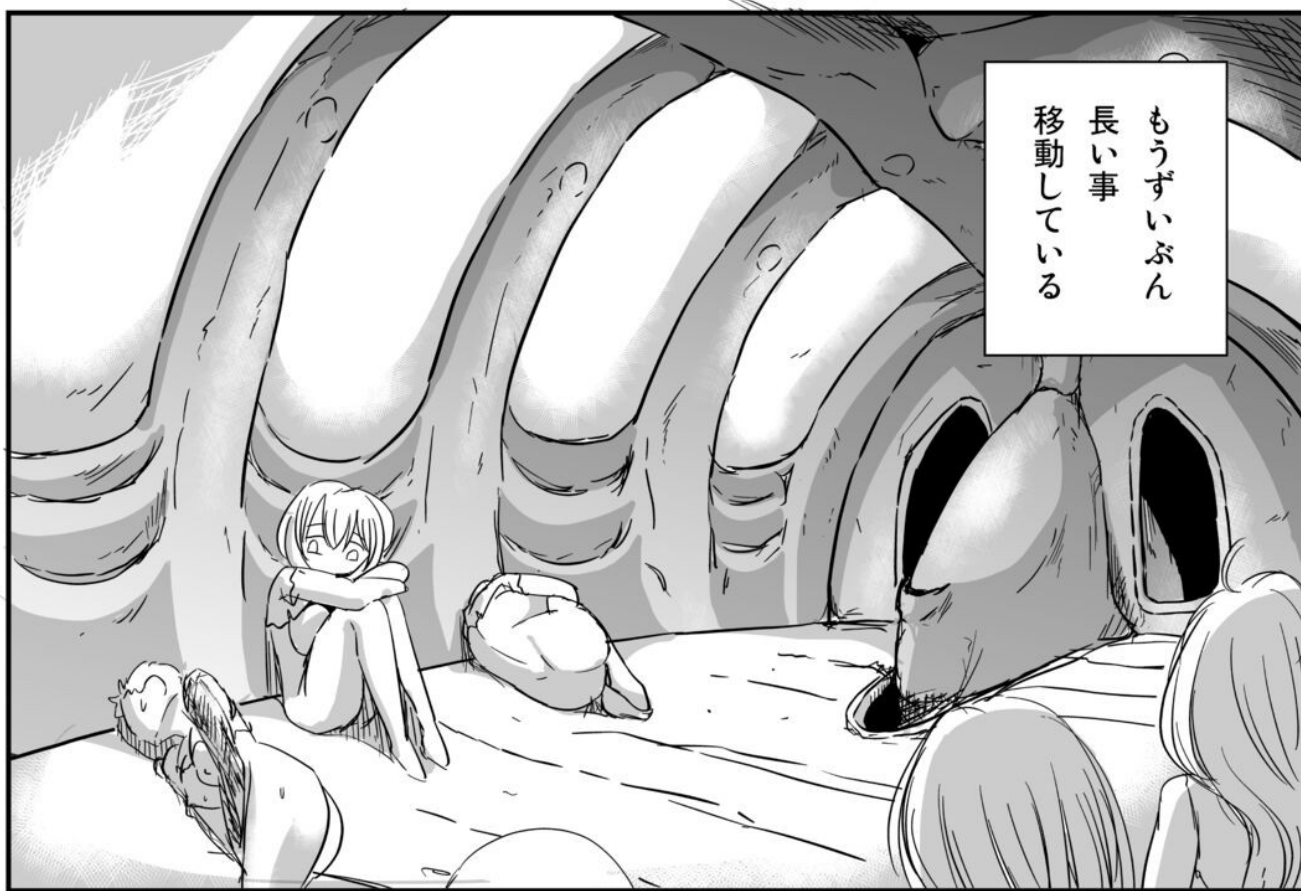
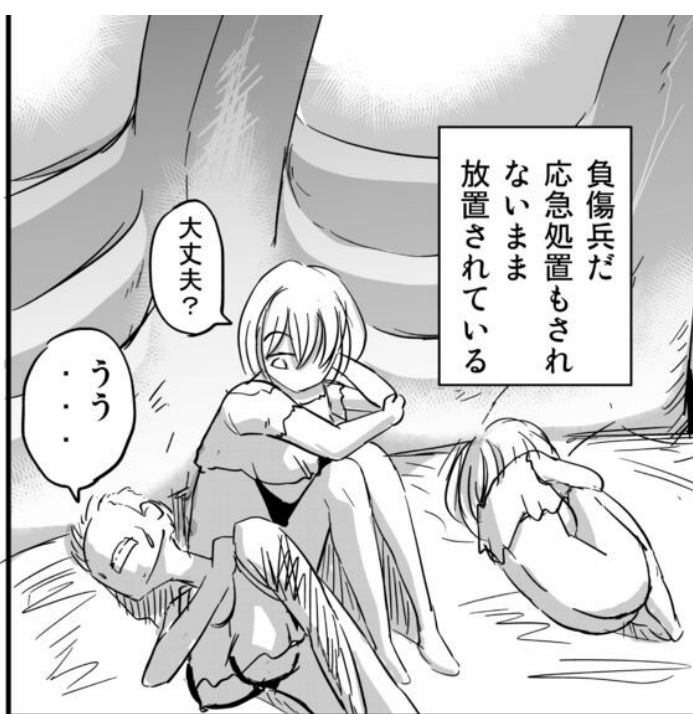
いつそ
今ここでと
思うも手に力が
はいらないー

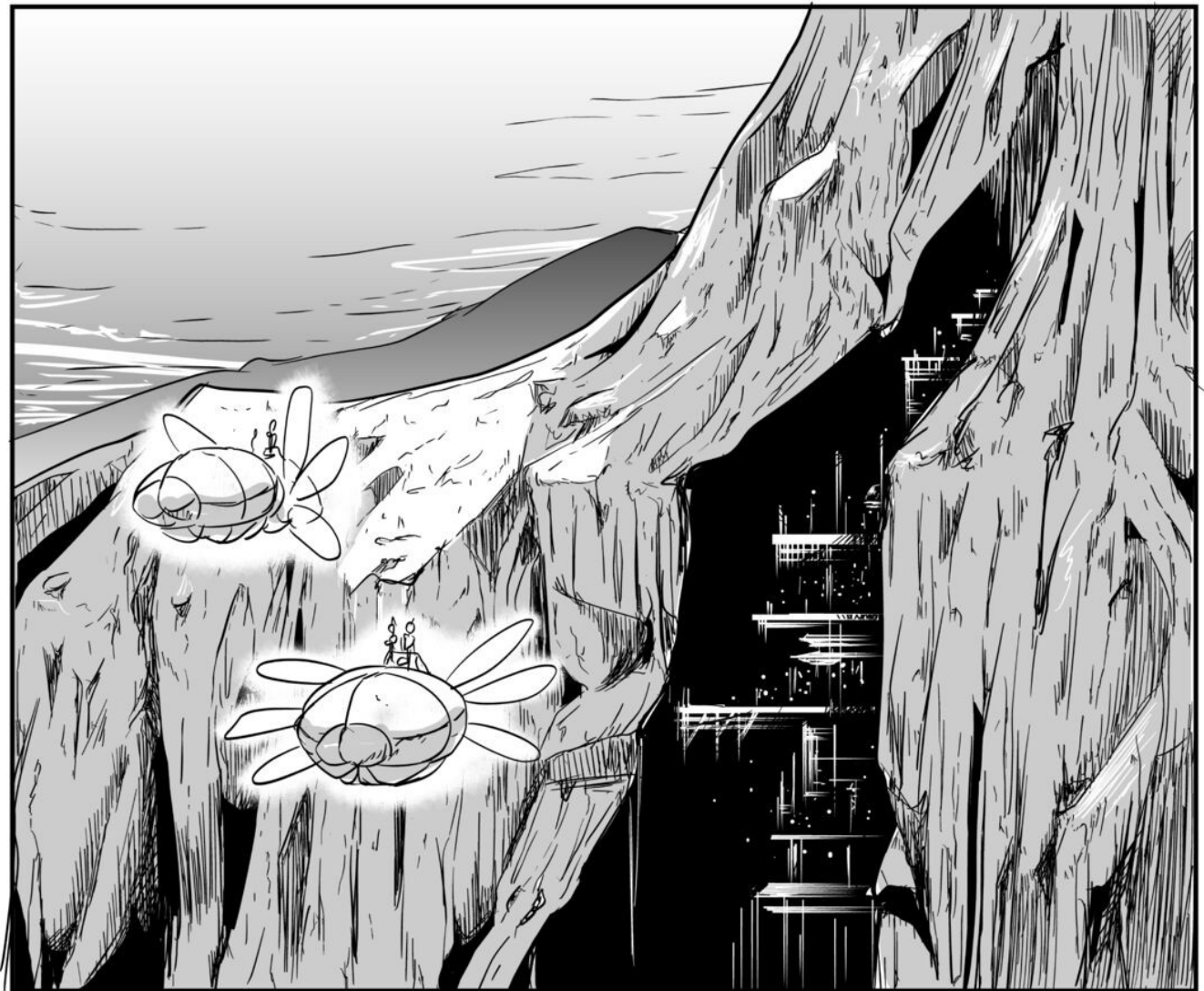
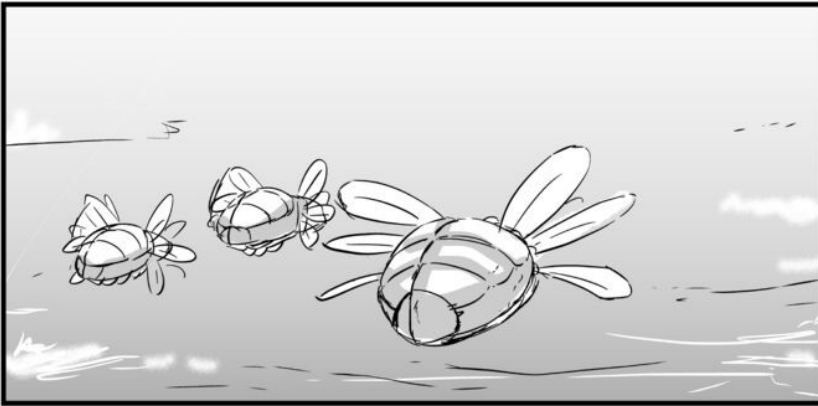
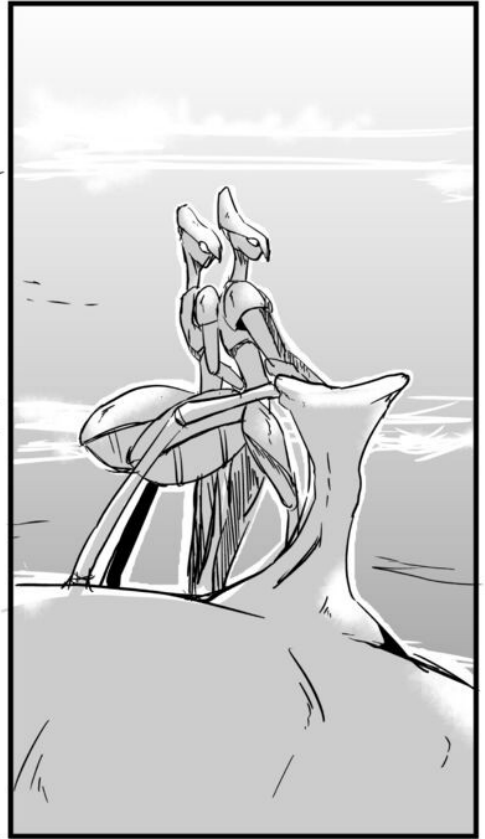
ぎっ

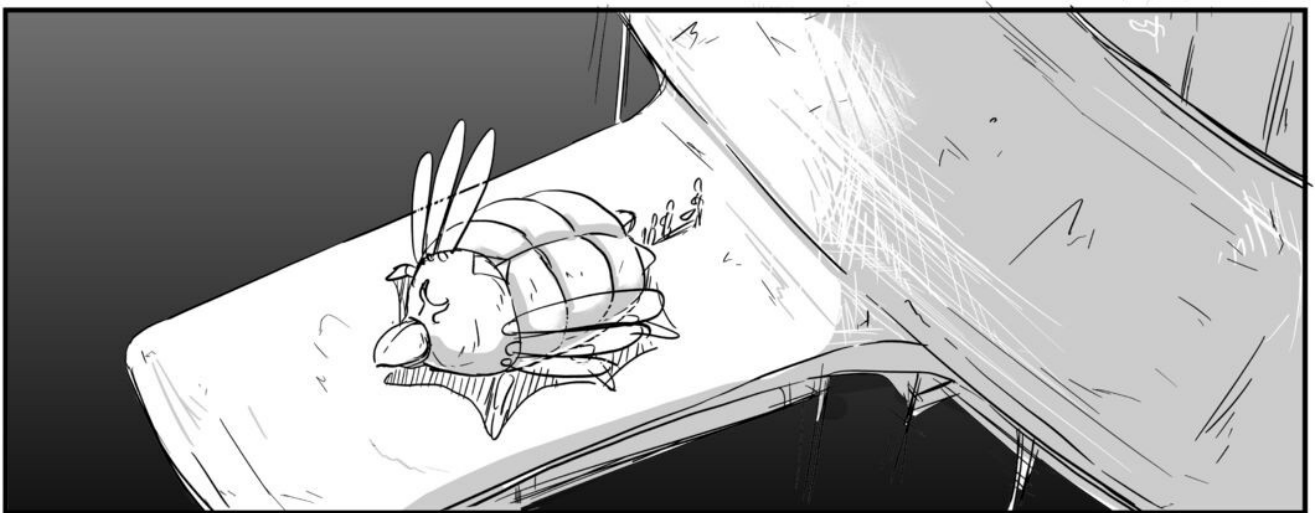
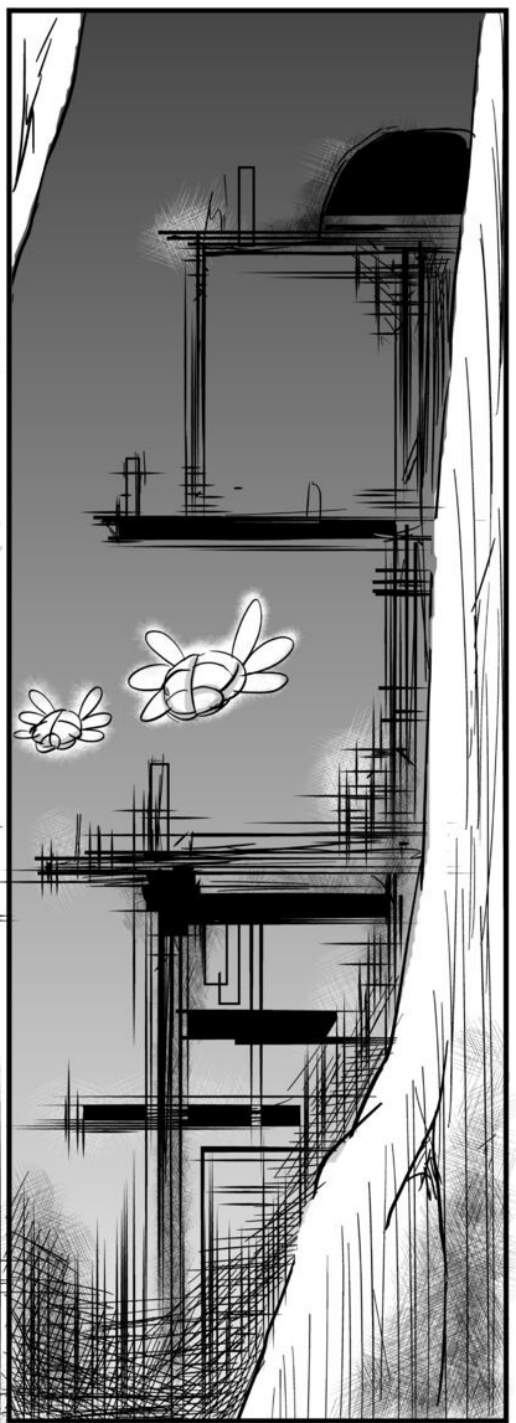
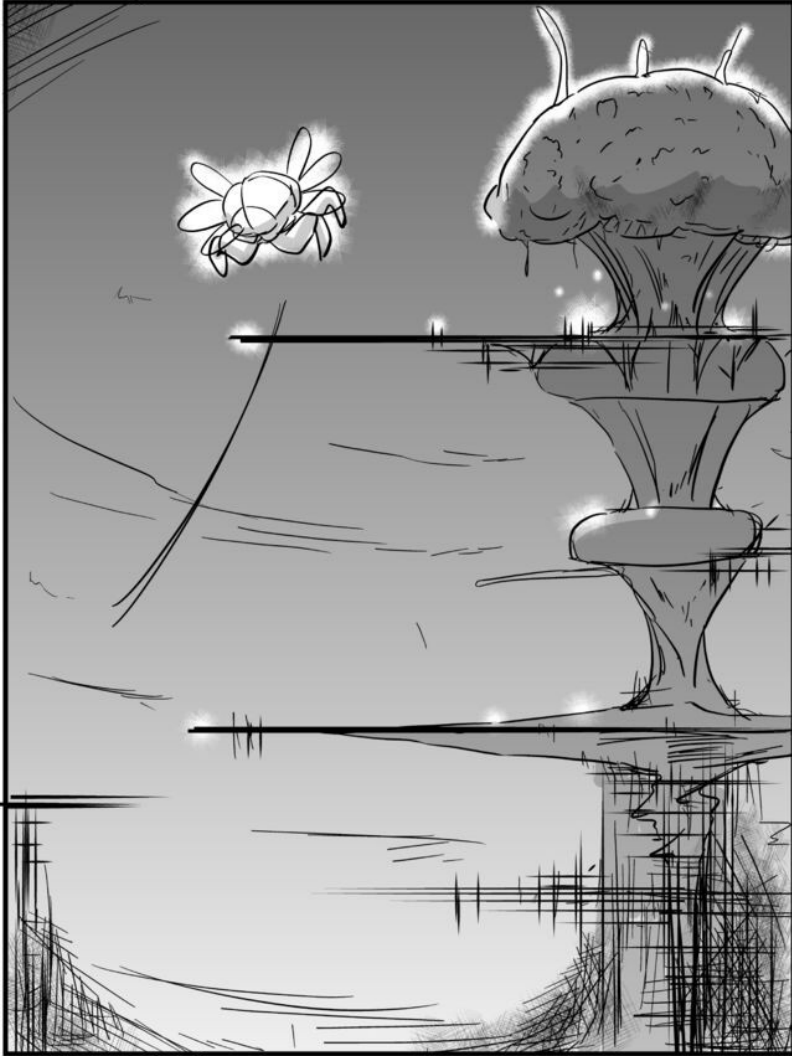
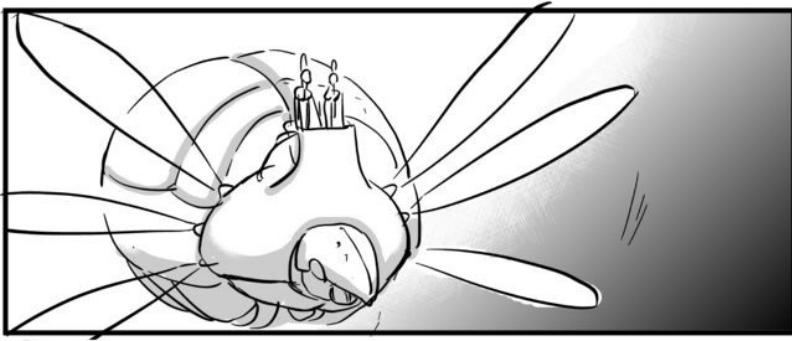
うう…

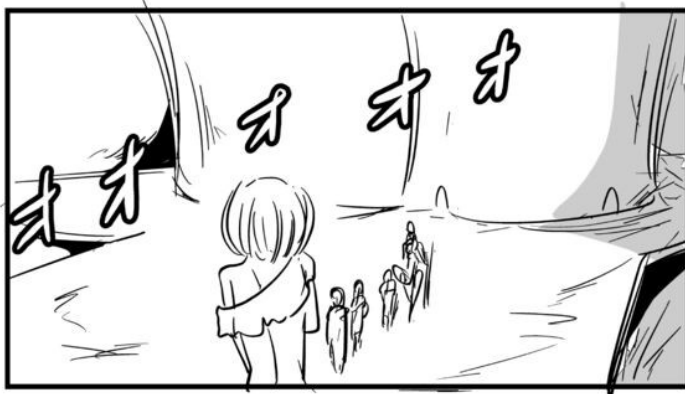
くっ

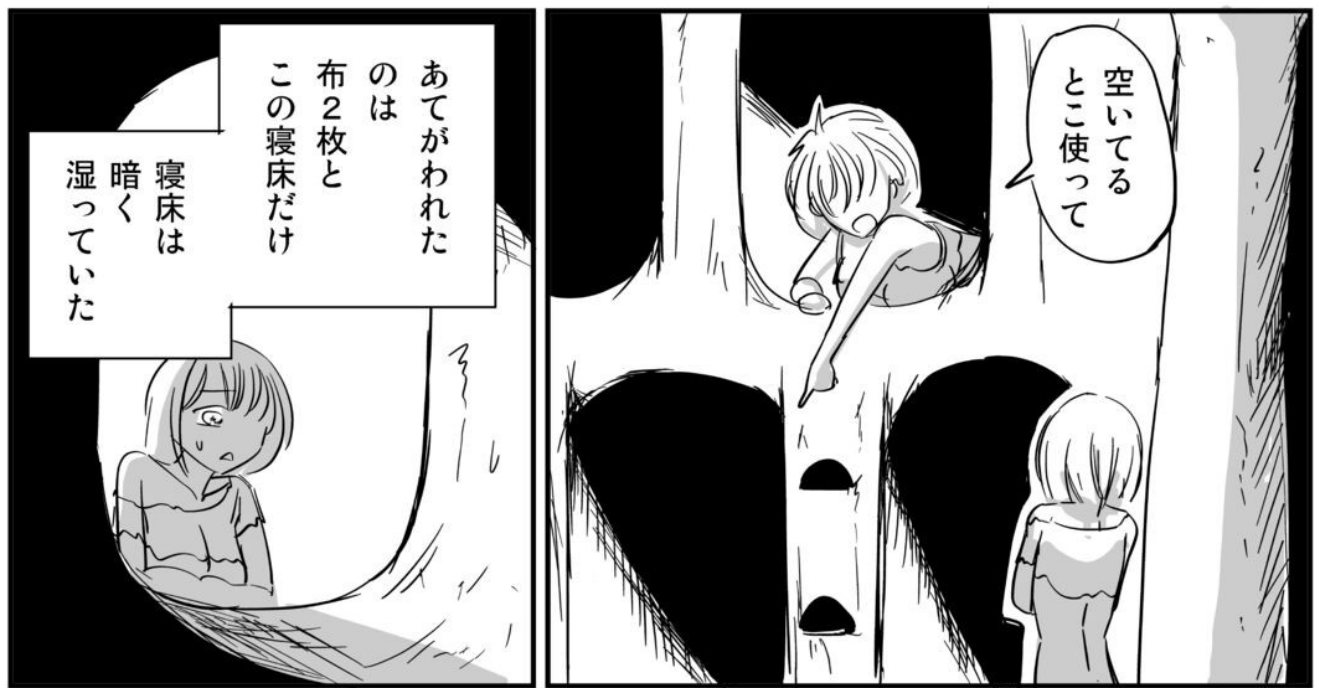
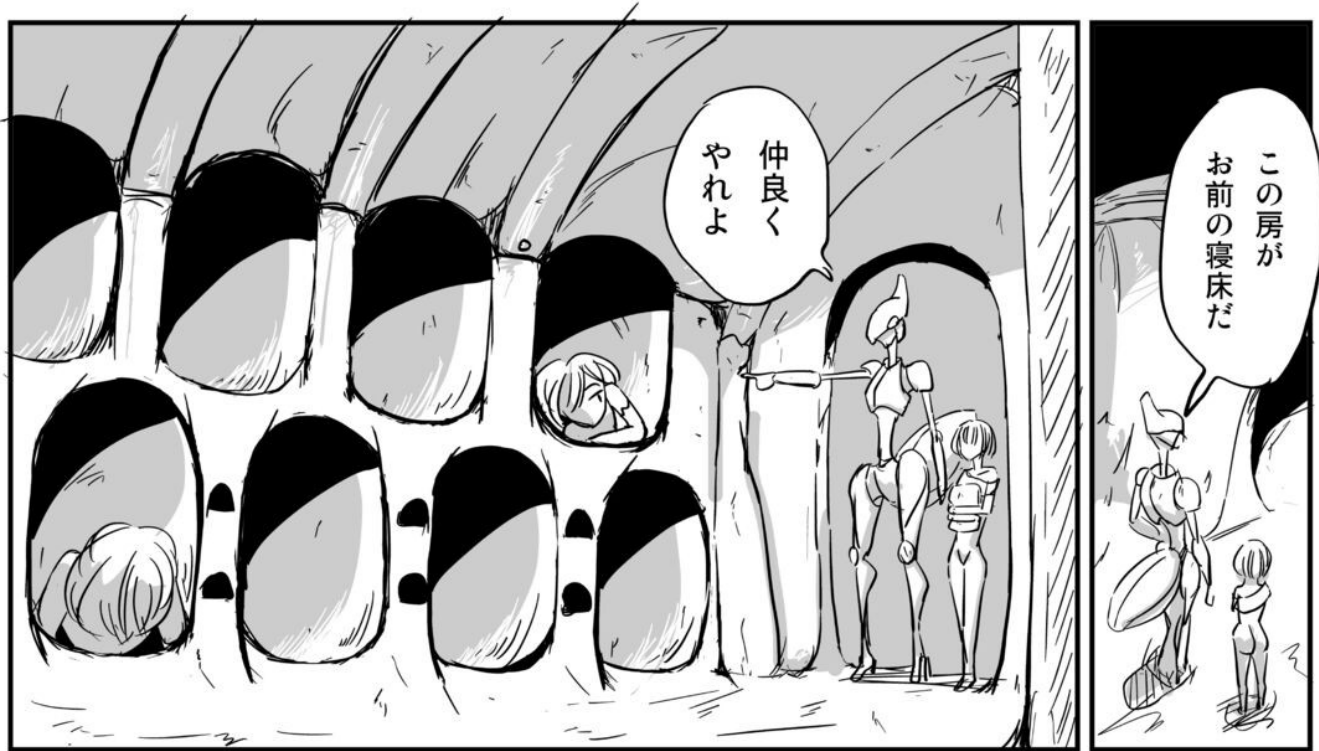
ううん

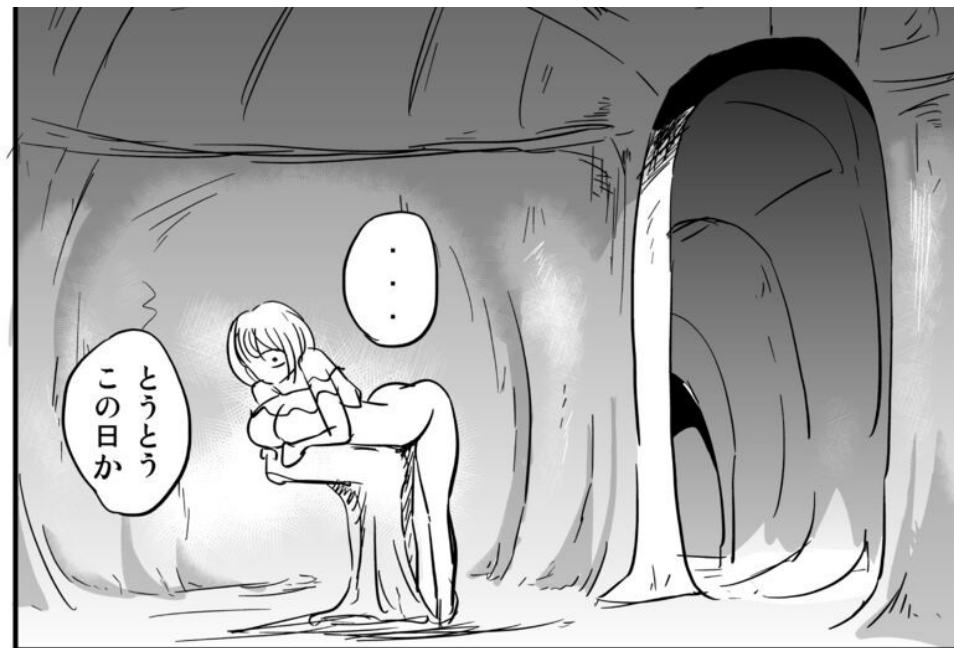














来たっ

カッ

うむ
準備はできて
おるな

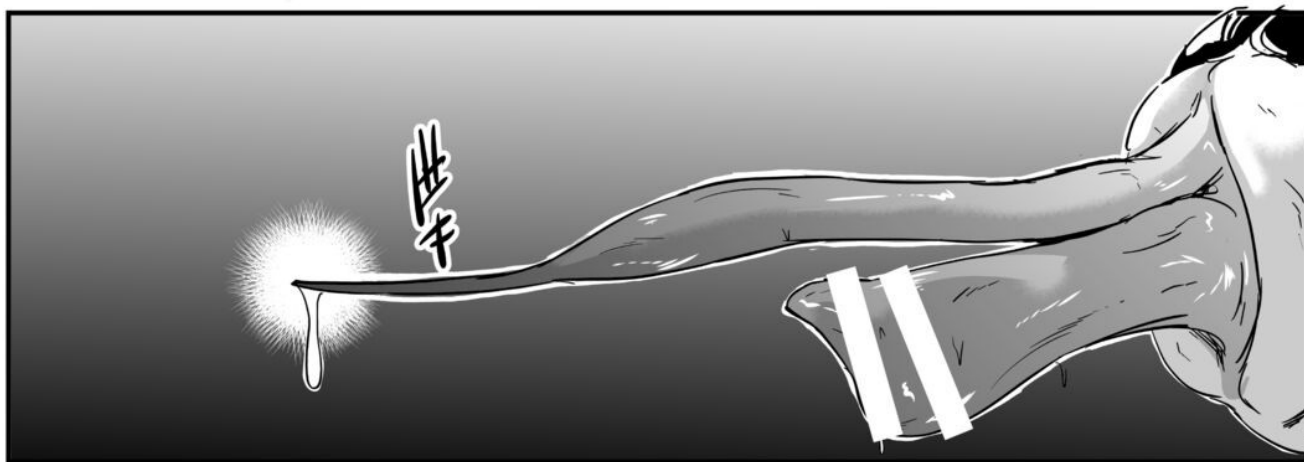
カッ

陛下
こちらです

カッ

虫人間女王



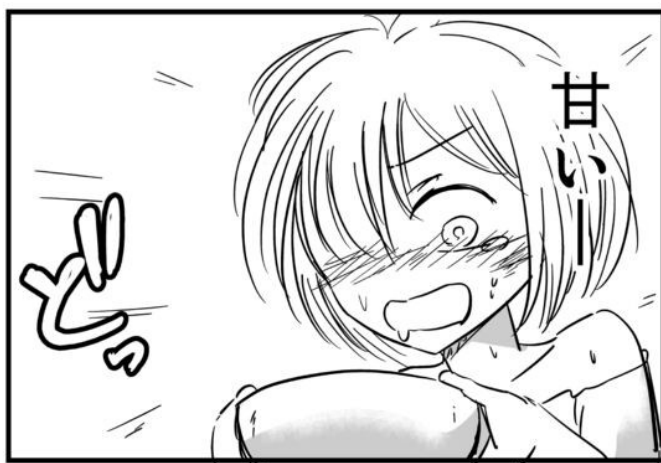
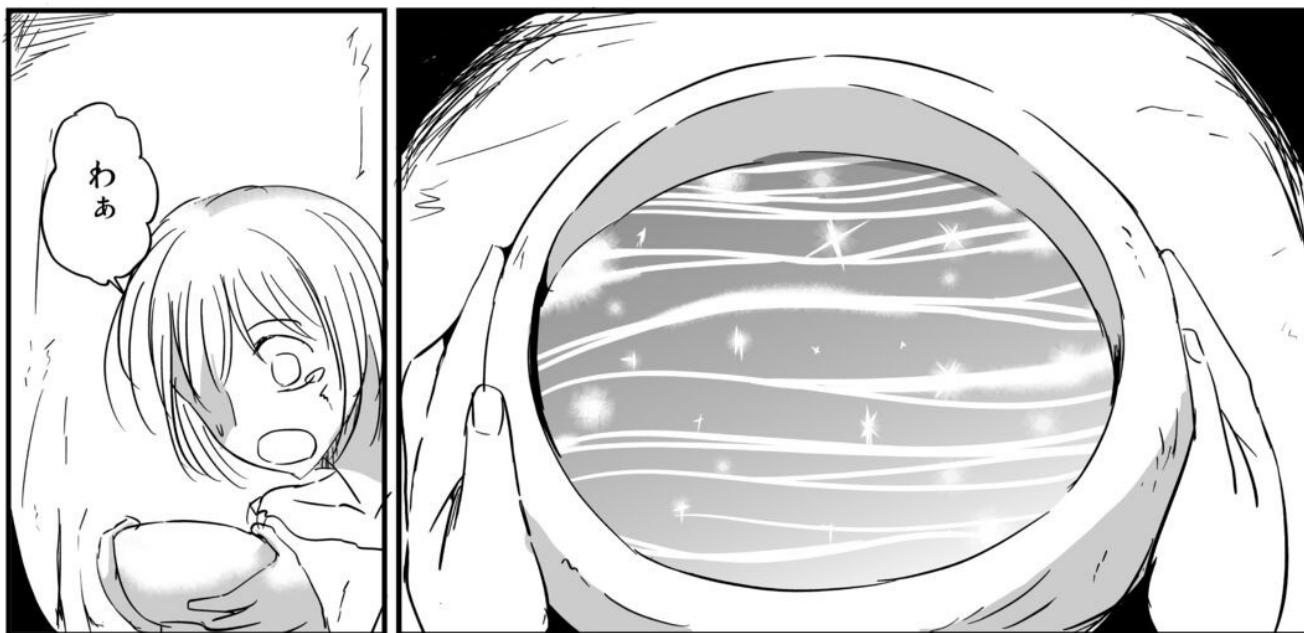


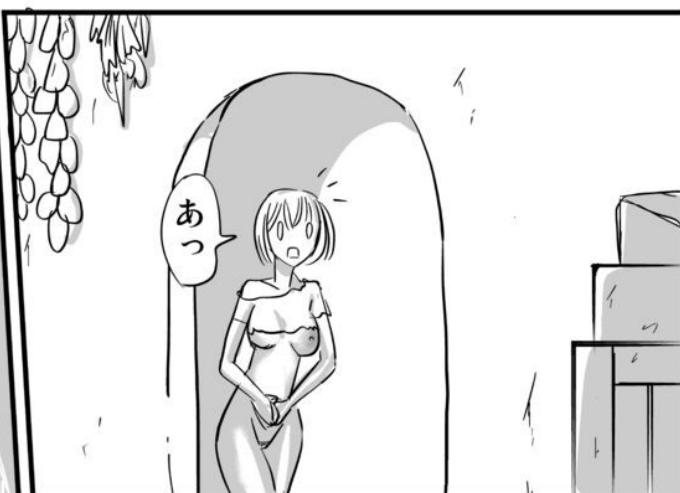


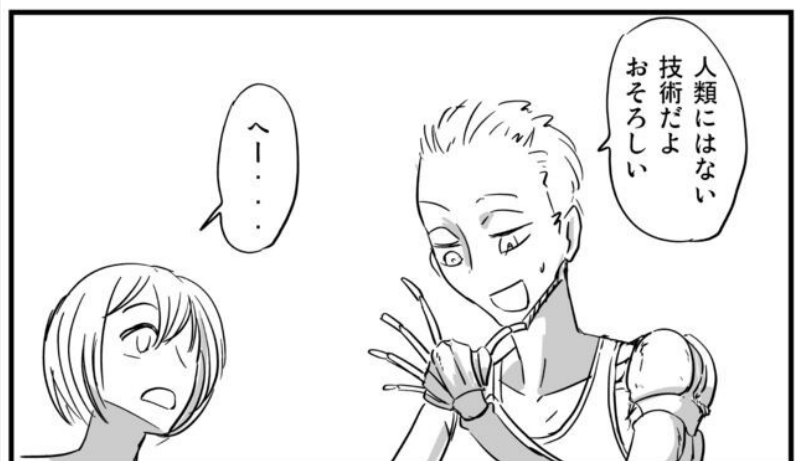
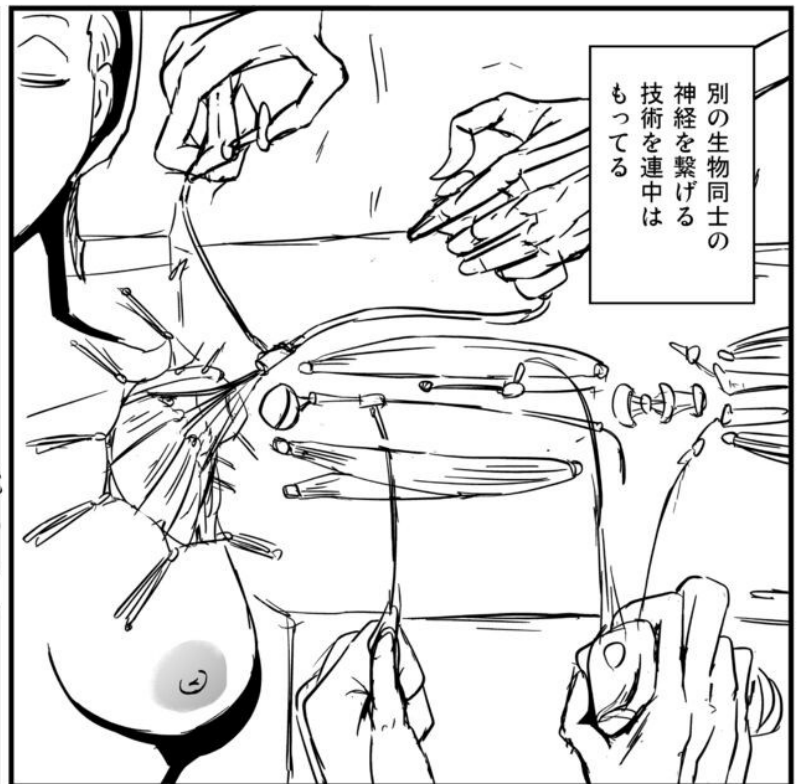
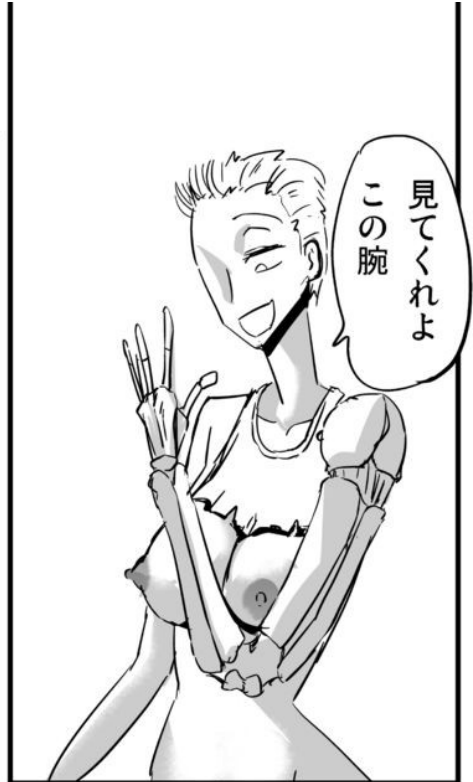
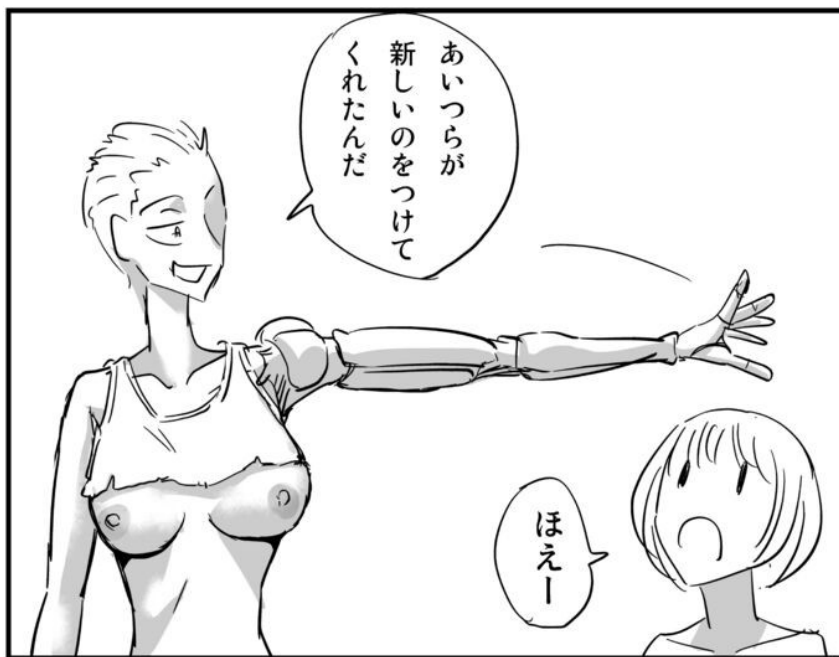
今から
あなたの子宮に
フェロモンを
打ち込みます

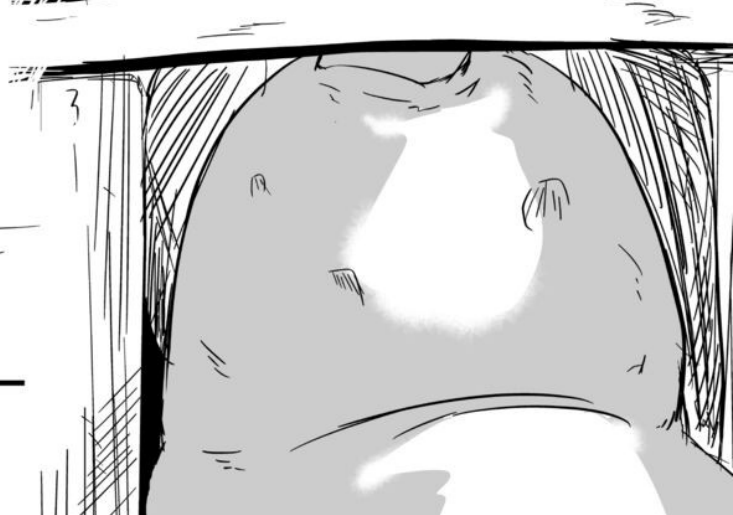
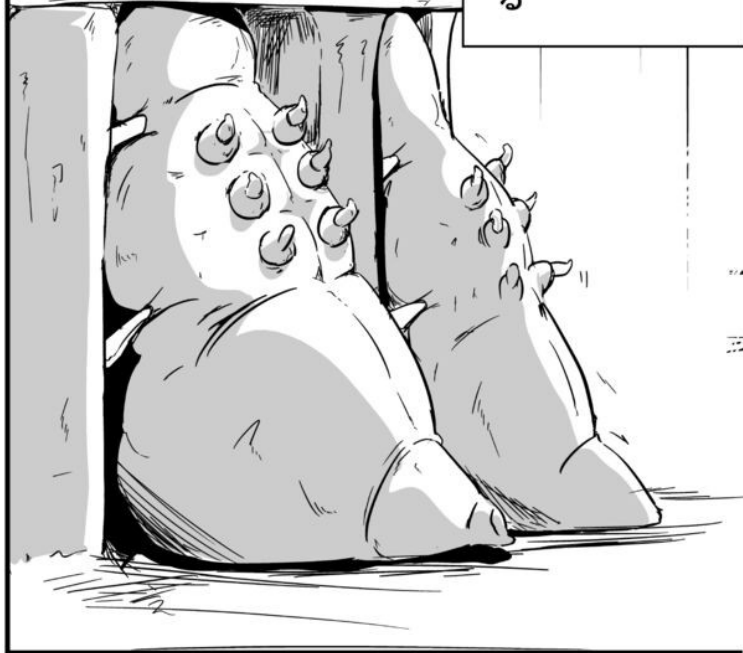
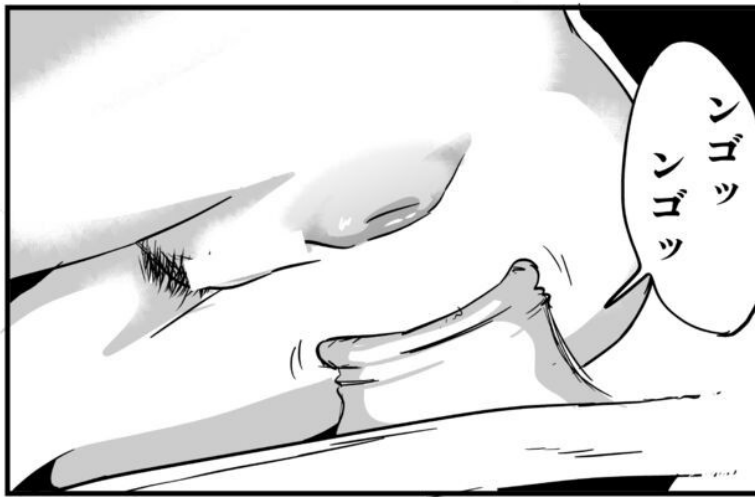
苦しいですが
耐えなさい

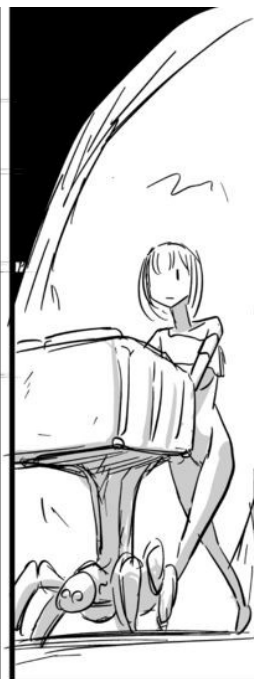
ぐわ
ぐわ

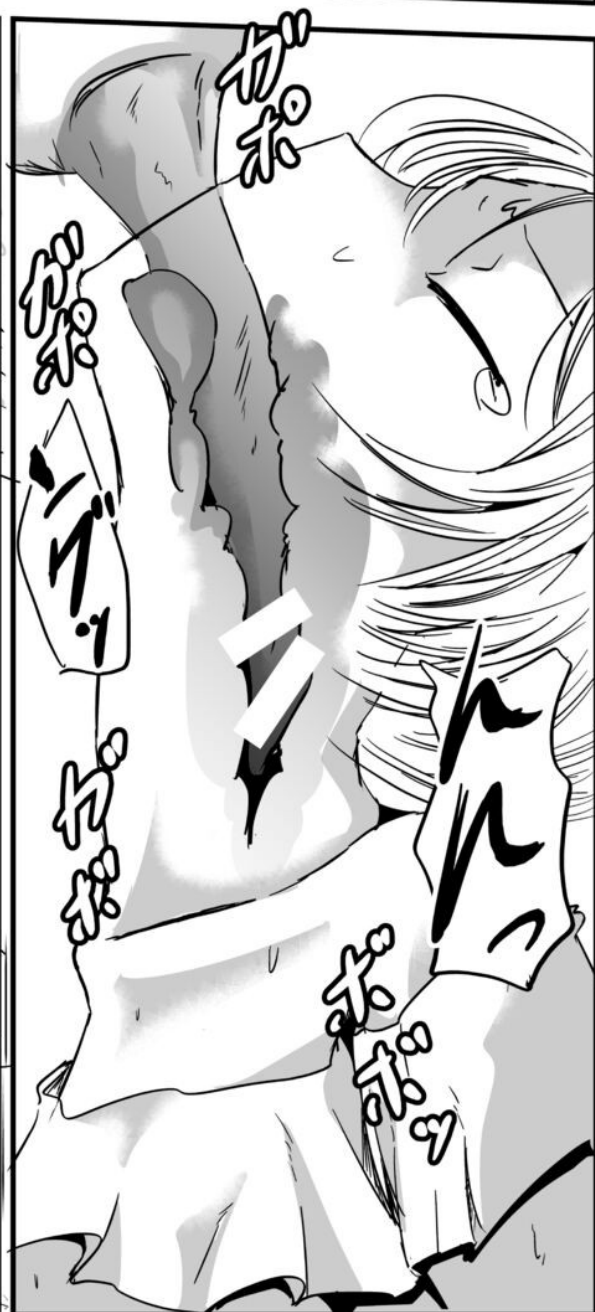
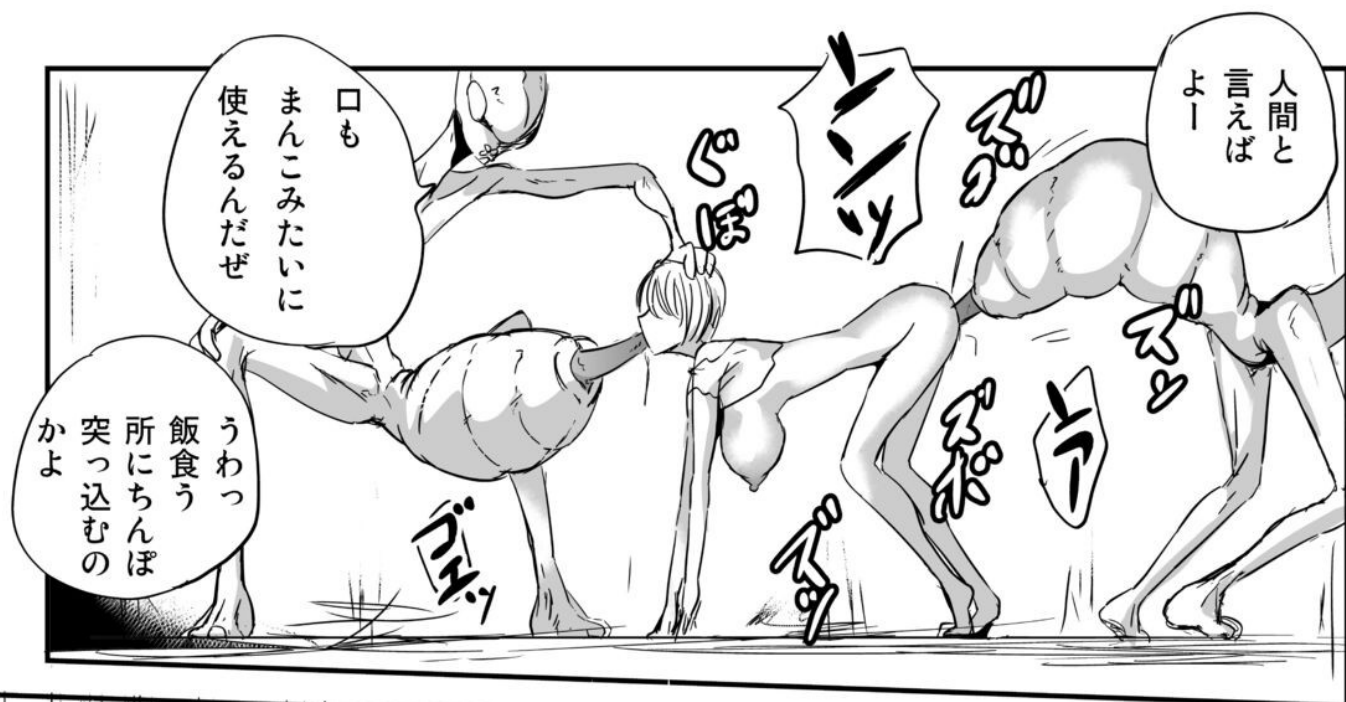






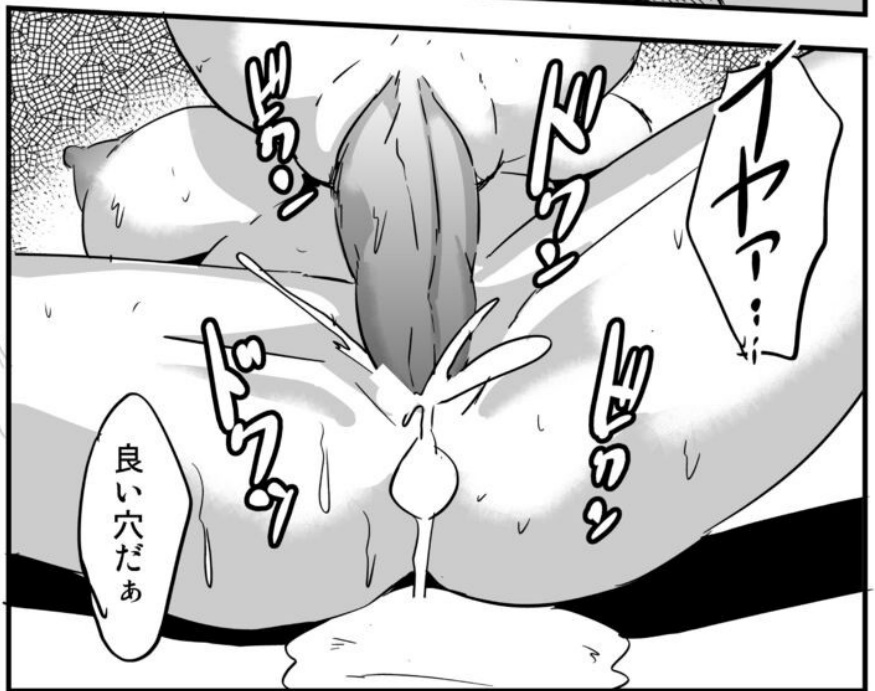




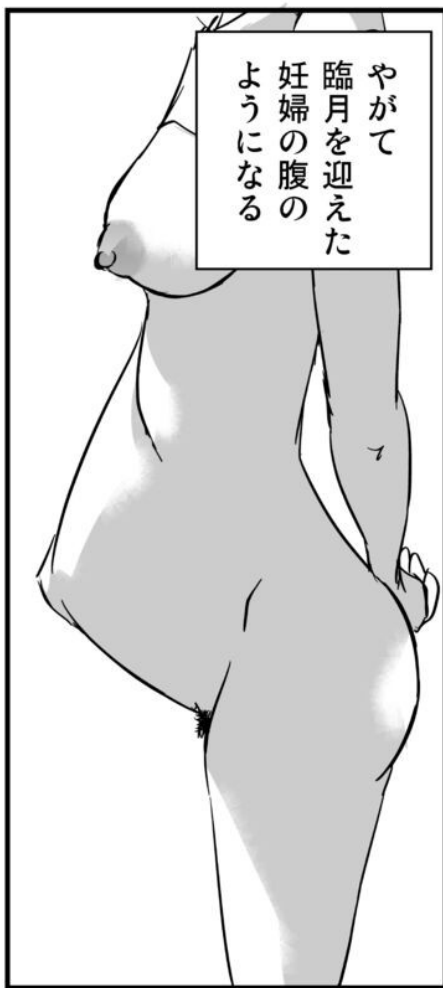
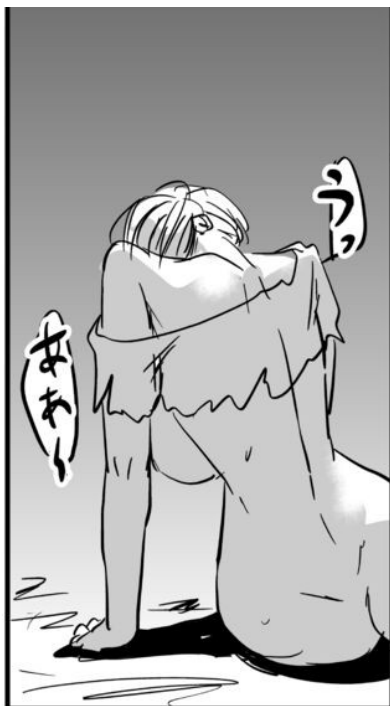




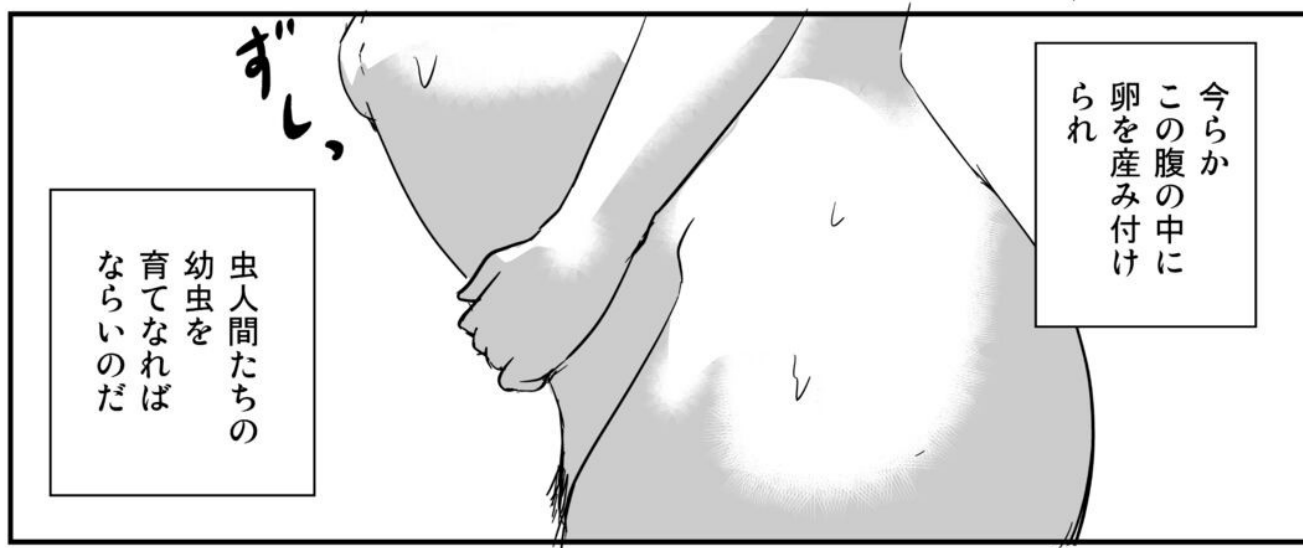
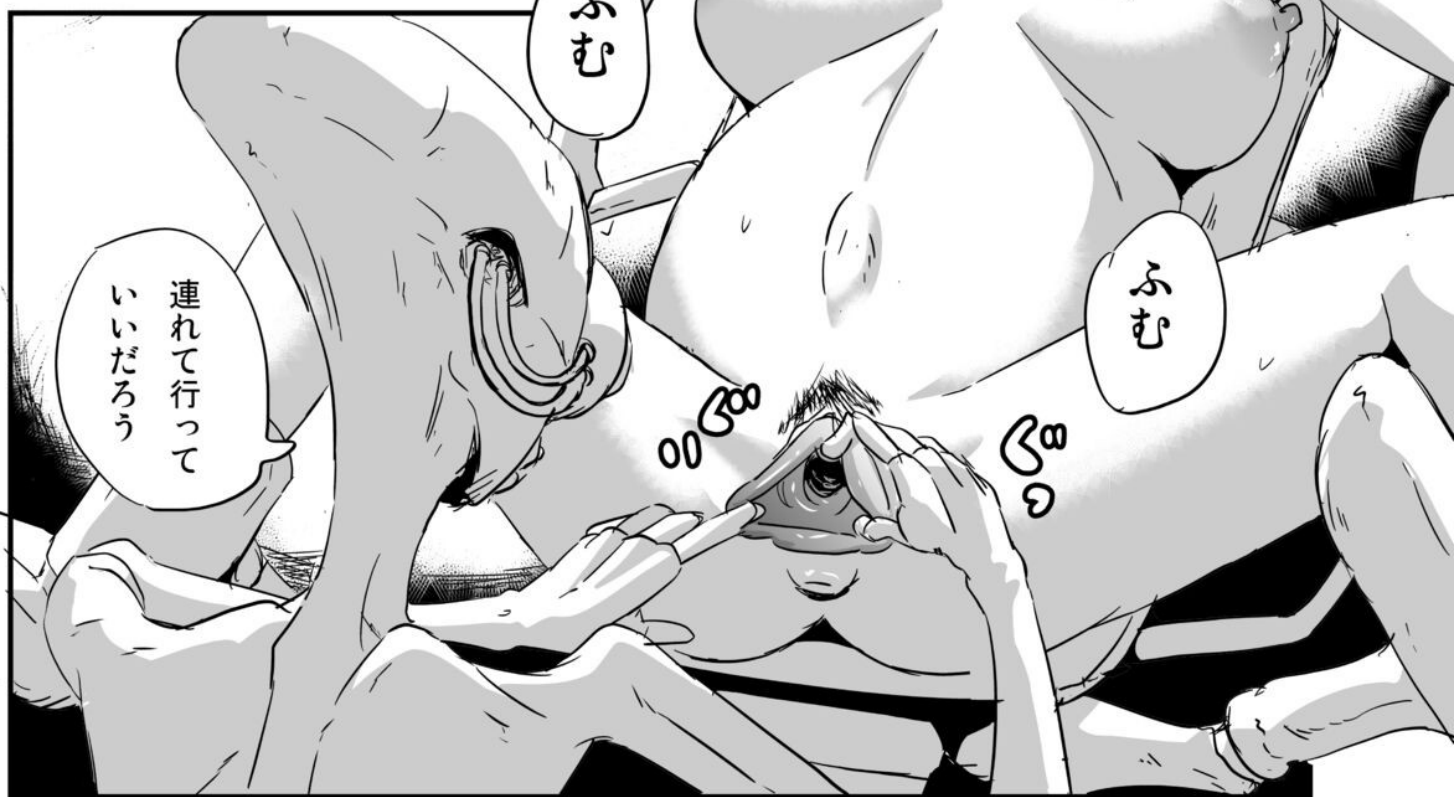


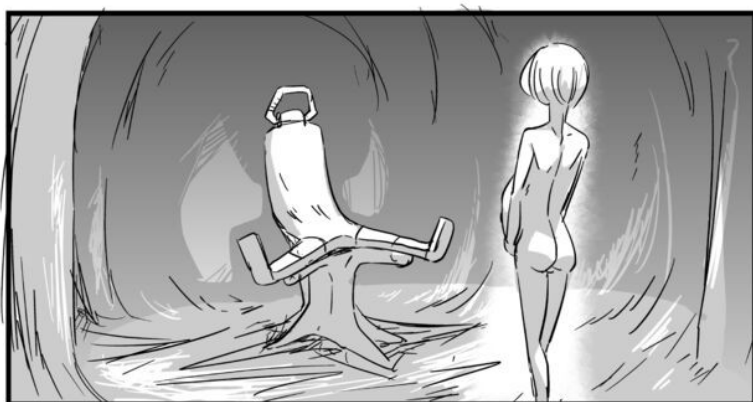
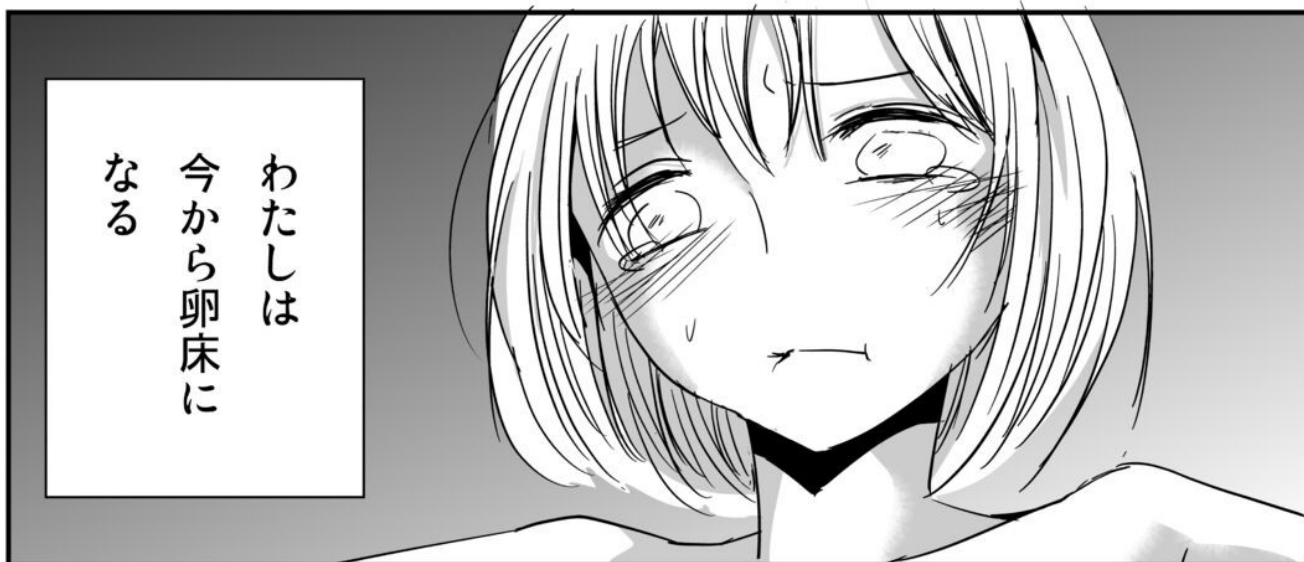


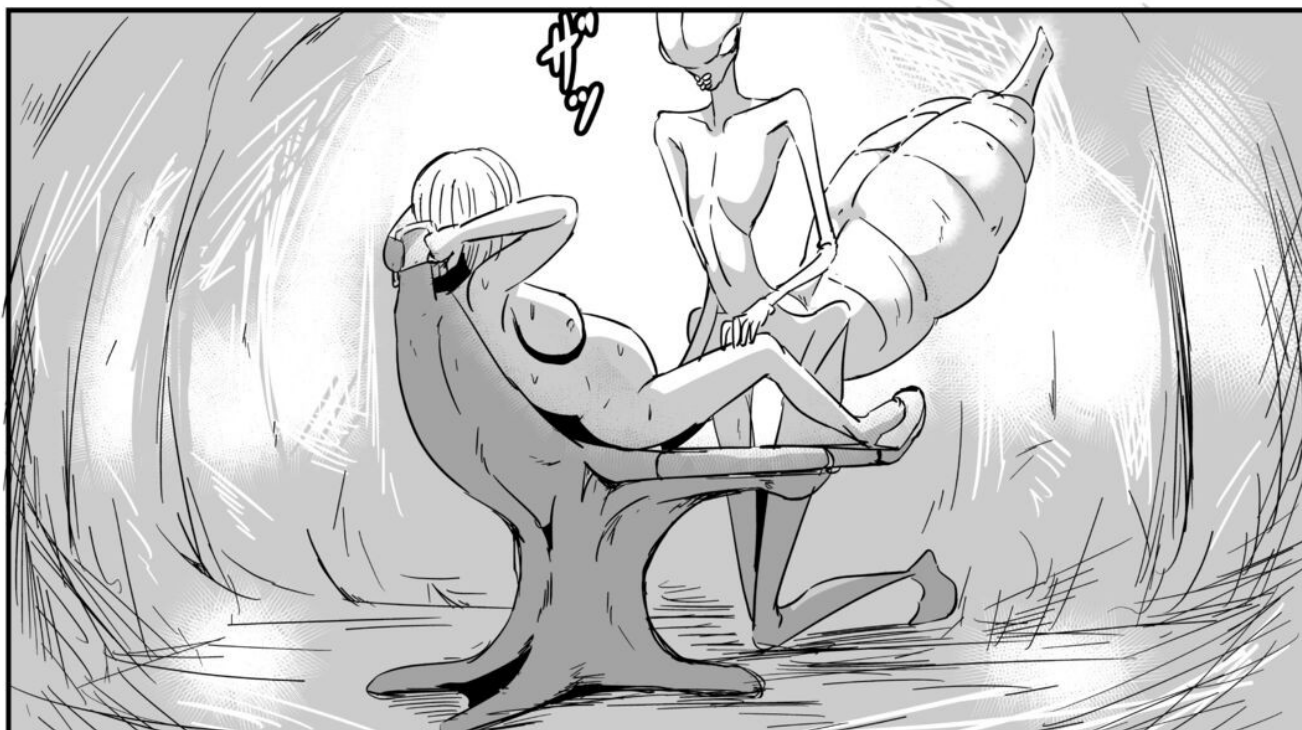


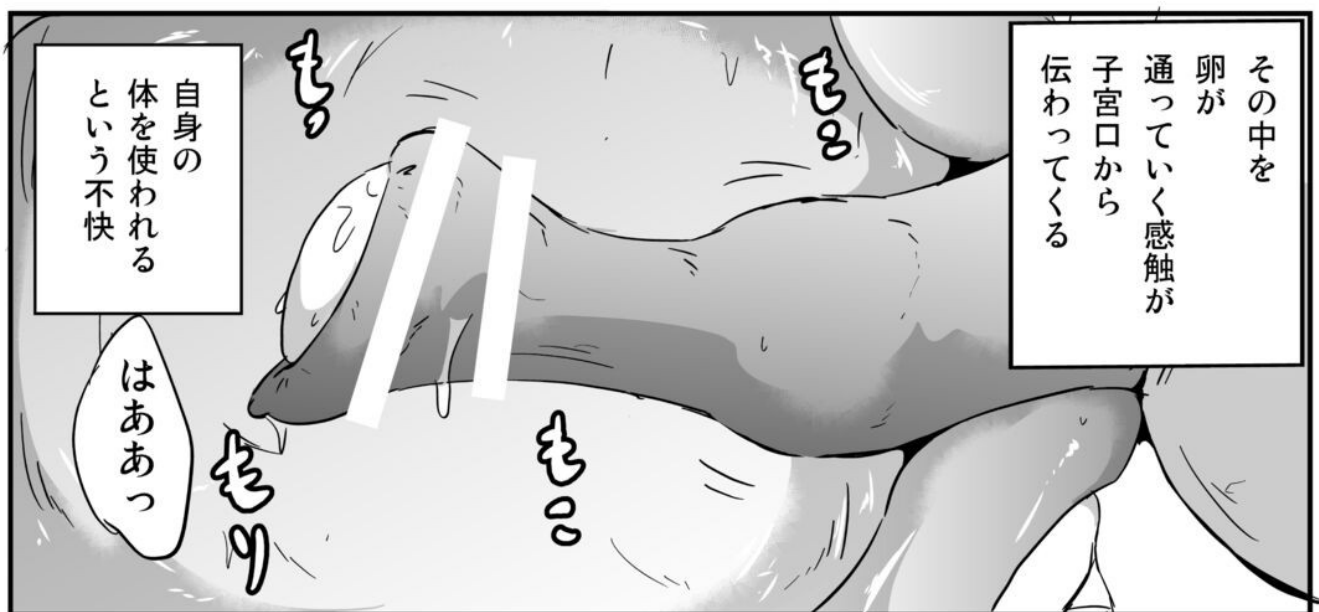
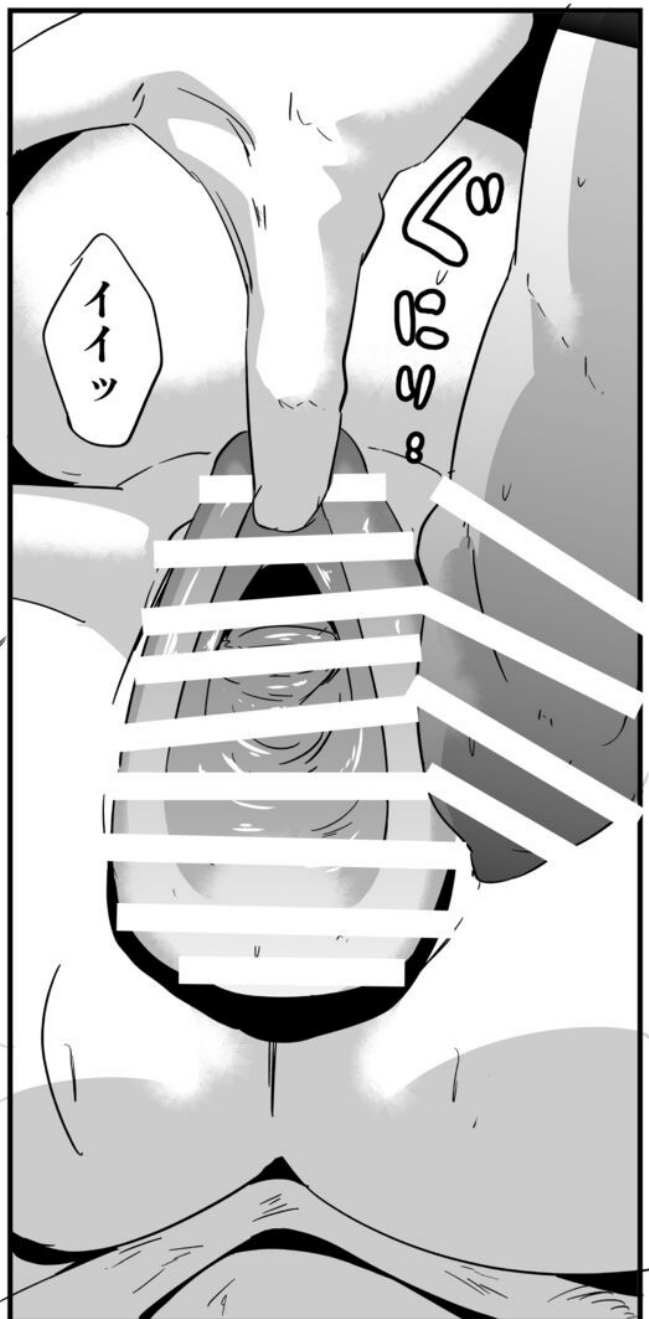
















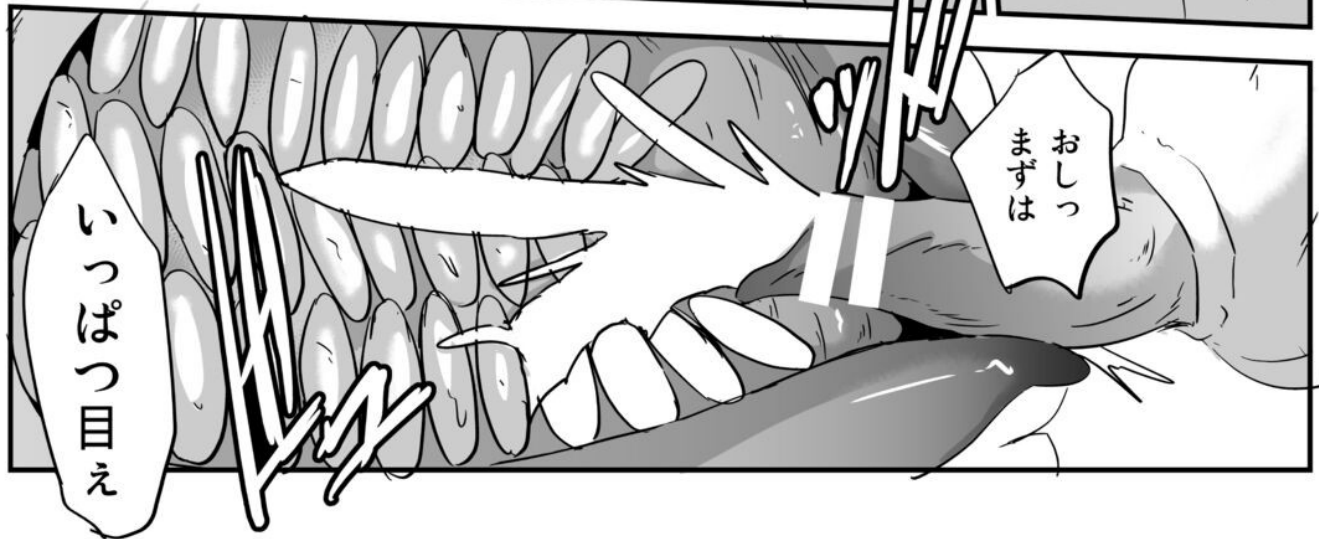
ああ
良い子宮だぜ

締めりがよい



おしっ
まずは

いっぱい目え



しつかり受精
するよう何度も
射精してやるから
な



よし
次はおれだ

へへっ
俺はよ

人間の体が
大好きなんだ
卵囊みてえに
やわらけえ
ところがよ

やだあ

もう

ギョ
ヤッ

ビッ
ギョ
ギョ

ギョ
ギョ
ギョ

ああゝ
人間のおっぱいは
たまらねえなあ

お前
マニアック
だな

バツカ知らねえのか
人間は母乳ってのが
おっぱいから
でてそれで
子育てするんだよ

ああゝ
人間の乳のんで
みてえゝ



マジで？
マツムシみたい
だな

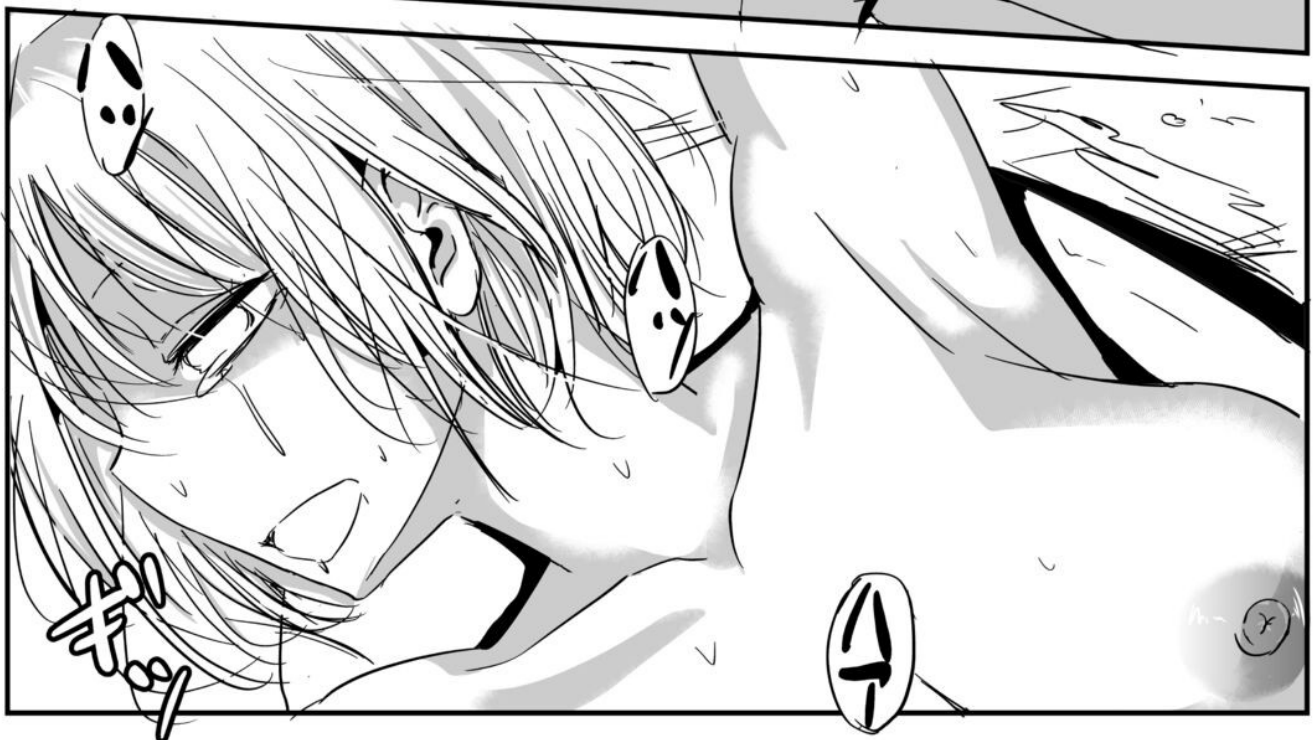
おらっ
本日一番搾りの
濃厚精液だあーっ

孕めっ



その後も
虫人間達は
何度もわたしの
子宮に精液を
流し込みました

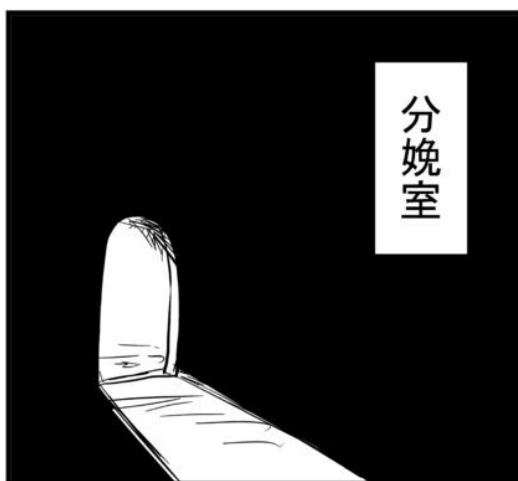
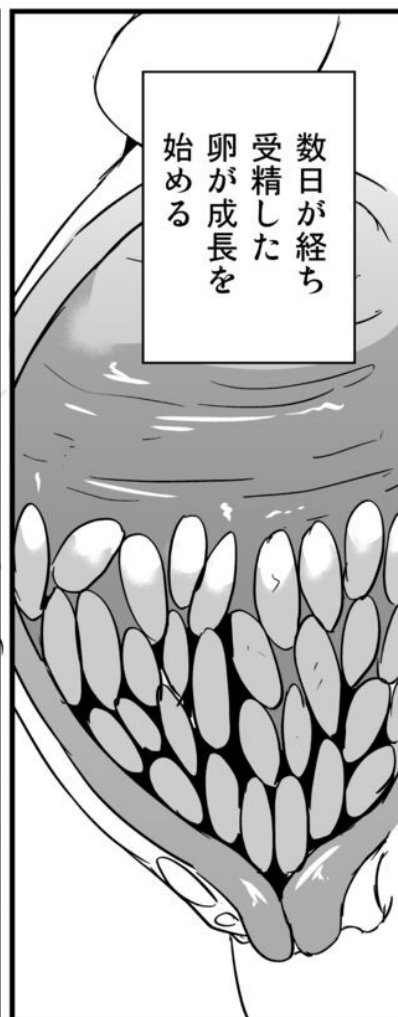
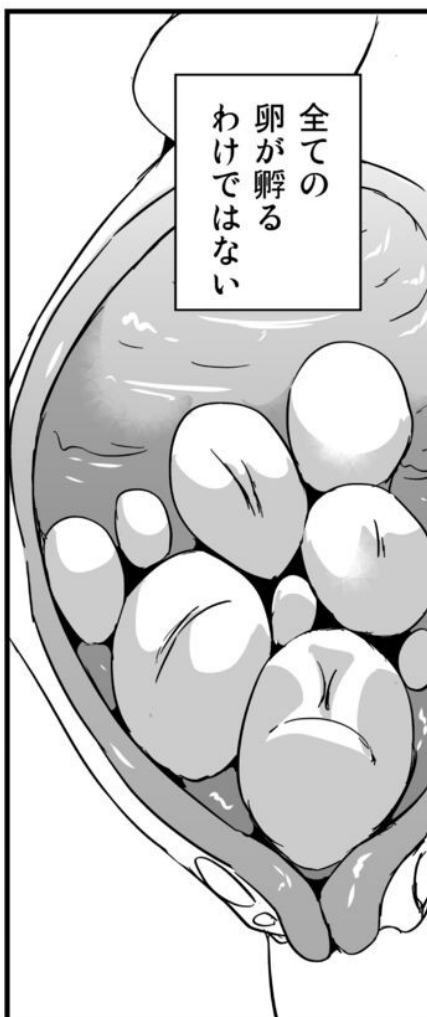
精液が
子宮からあふれ出し
床にドロリと
こぼれおちる
ほどに

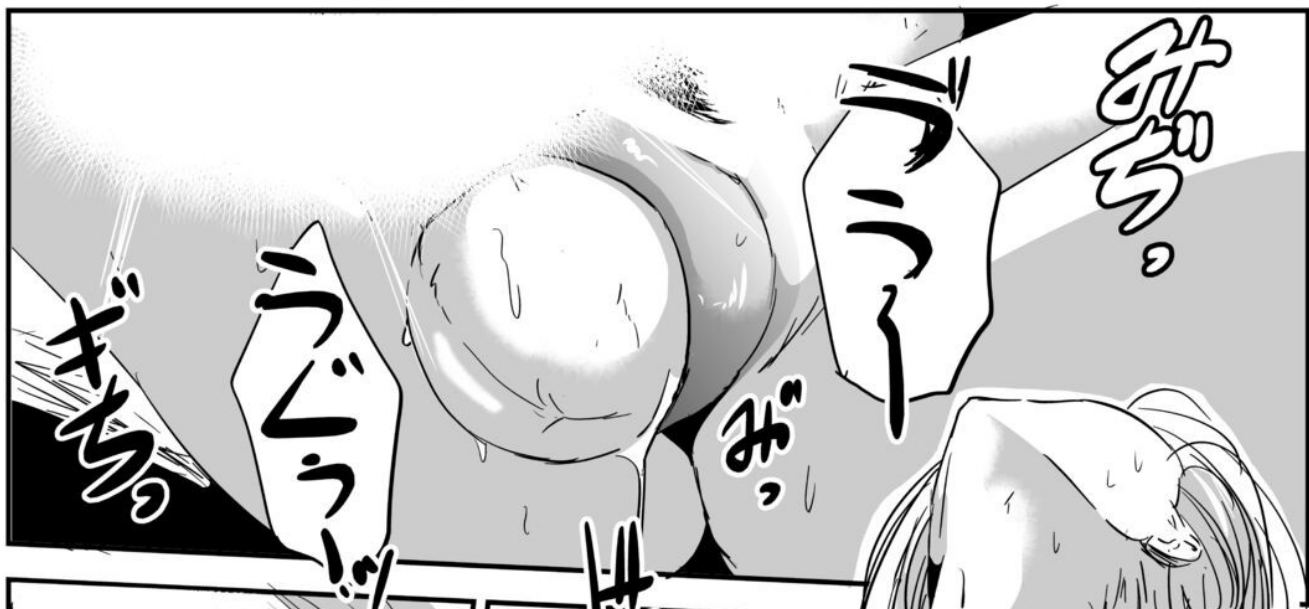


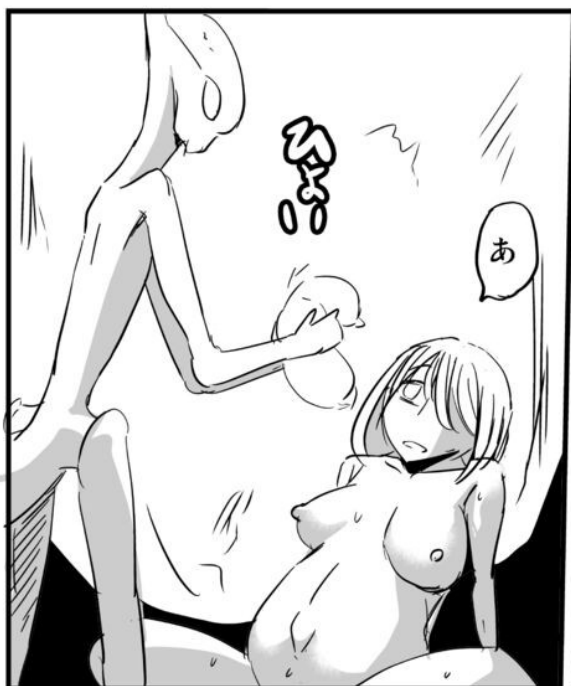
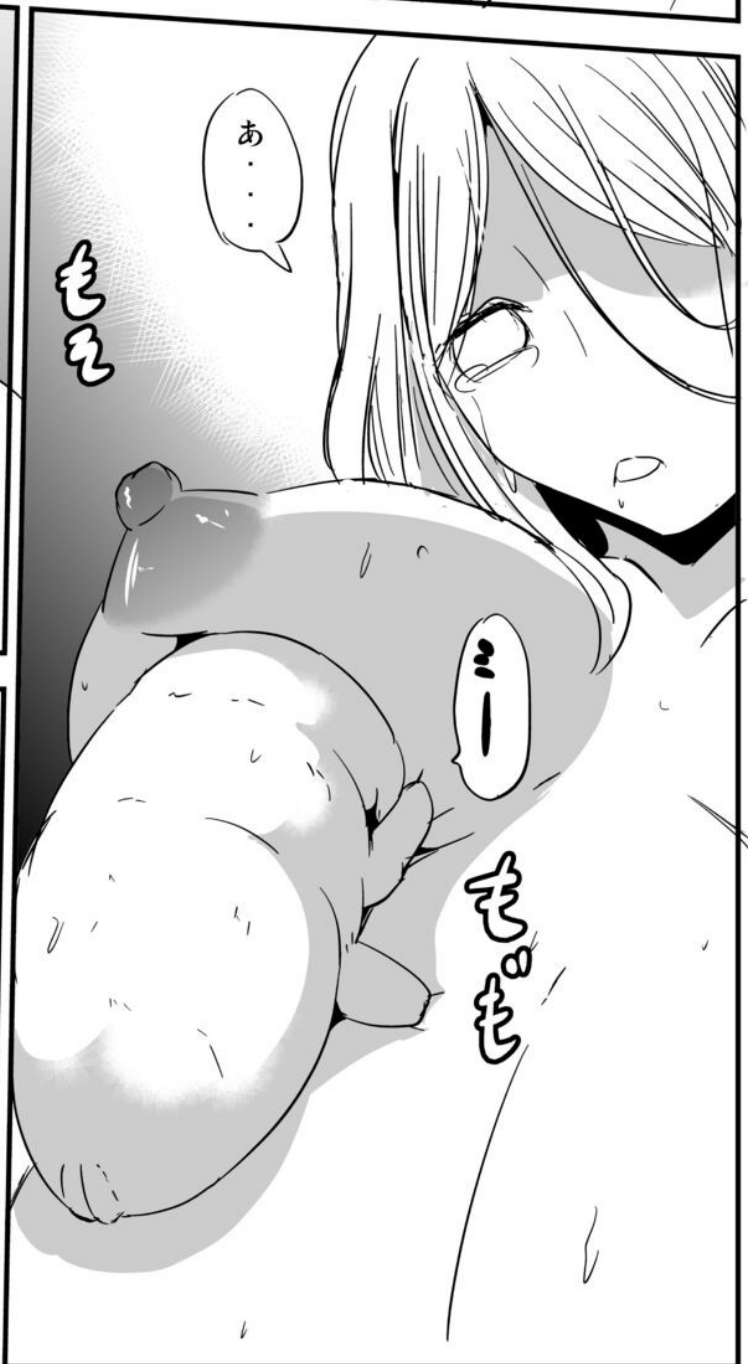
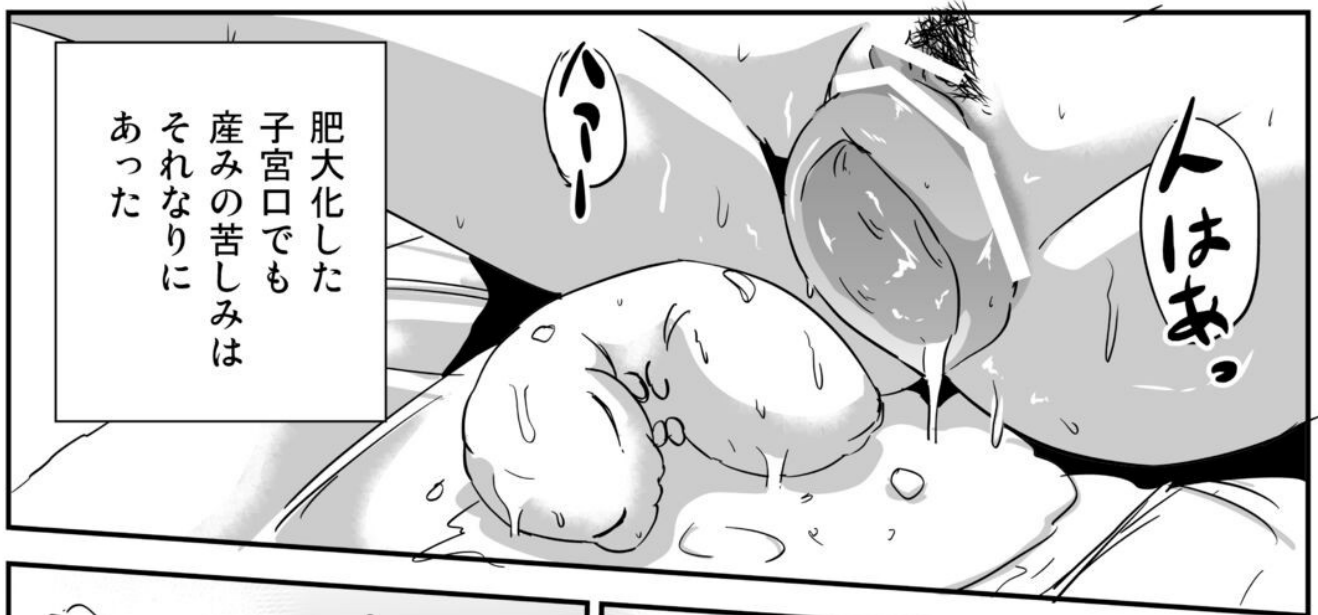


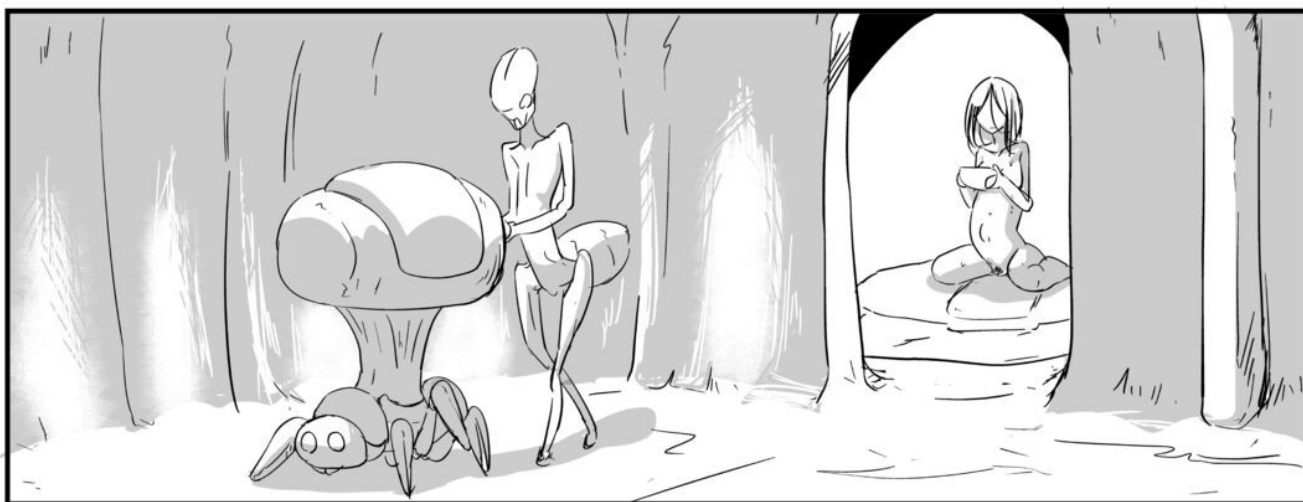
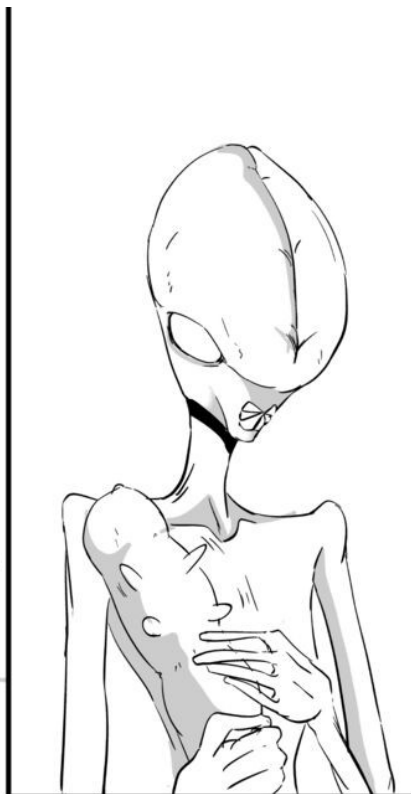
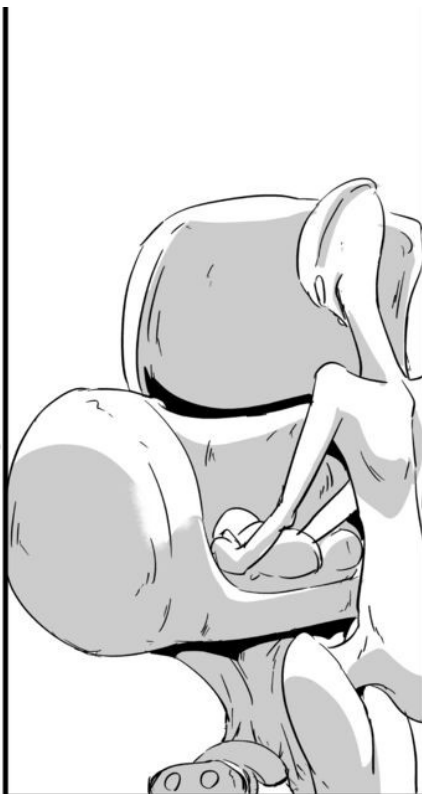
行為が終わるころ
わたしの中の
人間的な部分は

すっかり破壊されて
しまっていた









あの
甘い汁が
もらえた
滋養に富み
体力を
回復させる
らしい



保育器に
いれられた
幼虫は
どこかへ
連れて
行かれた

そうして
また
体力がもどった
ころ

卵を産み付けられ
受精させられる
いつまで
続くかわからない
卵床奴隷の生活



ま.わり